

(様式第 1 号)

令和 2 年 10 月 14 日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 様

領 域 名：医療に関する領域
科 目 名：疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I
単 位 数：2 単位
認証申請する研修の名称：疾患と生活支援

団体名：日本福祉大学
団体事務所の所在地：〒475-0012
愛知県半田市東生見町 26-2
電話：0569-20-0131
FAX：0569-20-0119
E-mail：handa@ml.n-fukushi.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：日本福祉大学
学長 児玉 善郎
申請責任者：日本福祉大学
健康科学部長 大場 和久

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙 1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	令和2年10月14日
申請団体名	日本福祉大学
申請団体代表者氏名	学長 児玉 善郎
申請責任者職名	健康科学部長
申請責任者氏名	大場 和久
団体住所	〒475-0012 愛知県半田市東生見町 26-2
同 Tel・Fax メールアドレス	Tel : 0569-20-0131 Fax : 0569-20-0119 E-mail handa@ml.n-fukushi.ac.jp
申請対象の領域	領域名 : 医療に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I (2単位)
申請する研修名	疾患と生活支援
研修認証実績	2021年 認証番号 (212301-02) 年 認証番号 () 年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	医療に関する領域	
科目名	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I	
(1) 提供する研修について		
研修名	疾患と生活支援	
研修目標	認定介護福祉士として、生活支援の場面で必要となる医療的ケアや判断及び医療職等との連携の際の根拠となる医療に関する基礎的な知識を獲得させる。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援場面で必要となる、解剖生理、病態生理、症候、疾病等の基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 疾患・障害等について、その機序、主な症状、診断・治療、経過と予後等の生活支援に必要な基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>○生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎的な知識</p> <p>【「疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I」で扱う疾患・症候】</p> <p>発熱、脱水、悪心、嘔吐、下痢、便秘、失禁、頻尿、浮腫、腹痛、食欲不振、咳、痰、喘鳴、呼吸困難、誤嚥 動悸、不整脈、胸痛 難聴、視力障害、眩暈、麻痺、振戦、腰痛、膝痛 不眠 褥瘡</p> <p>○疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 各疾患・障害等において、次の内容をふまえる</p> <p>①機序、症状、診断・治療、経過と予後</p> <p>②主な薬の知識（作用と副作用）</p> <p>③リスクと対応</p> <p>④生活支援の留意点・観察ポイント</p> <p>⑤他職種と共有すべき情報 等</p> <p>【「疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I」で扱う疾患・障害】</p> <ul style="list-style-type: none"> 神経系疾患 ①神経筋疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症（ALS）等） ②脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作（TIA）等） 高次脳機能障害 循環器系疾患（慢性虚血性心疾患・狭心症・急性心筋梗塞・高血圧性疾患） 呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患・誤嚥 	<p>1. 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎知識（1）</p> <p>2. 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎知識（2）</p> <p>3. 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎知識（3）</p> <p>4. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：感染症</p> <p>5. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：神経・筋疾患</p> <p>6. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：高次脳機能障害</p> <p>7. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：循環器疾患・呼吸器疾患（1）</p> <p>8. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：循環器疾患・呼吸器疾患（2）</p> <p>9. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：消化器疾患・代謝系疾患</p> <p>10. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：泌尿器疾患</p> <p>11. 疾患・障害等において、生活支</p>

	<p>性肺炎・不顕性肺炎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代謝性疾患 (脂質異常症・糖尿病) ・筋骨格系疾患 <p>①骨関節疾患 (膝関節症、骨粗鬆症、関節リウマチ・腰部脊柱間狭窄症)</p> <p>②高齢者に多い骨折等 (大腿骨頸部骨折・橈骨遠位端骨折、腰椎圧迫骨折等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患 (統合失調症、うつ病、せん妄、アルコール依存症候群、睡眠障害等) ・知的障害 (精神遅滞) ・発達障害 ・その他の疾患：老人性白内障、緑内障、老人性難聴 	<p>援に必要な基礎的な知識：筋骨格系疾患 (1)</p> <p>12. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：筋骨格系疾患 (2)</p> <p>13. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：筋骨格系疾患 (3)</p> <p>14. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：精神的疾患・発達・知的障害</p> <p>15. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識：感覚器系疾患</p>
研修方法	<input checked="" type="checkbox"/> 通学課程 (集合研修) <input type="checkbox"/> 通信課程 (通信研修)	
研修時間	30 時間 (うち課題学習 7.5 時間)	
修了要件	<p>原則として全課程の出席を要する。やむを得ない事情による遅刻、早退については30分を上限として認める (別途課されるレポート課題により代替することを可能とする。)。30分を超える遅刻、早退は認めない。筆記試験の合格をもって修了とする。</p>	
講師要件 (講師の選定基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了していることが望ましい ・在宅支援の経験がある医師または看護師が望ましい 医師：大学講師以上または学会認定専門医以上が望ましい 看護師：大学講師以上または「認定看護師」以上の資格を所持していることが望ましい 	
(2) 受講者について		
受講対象 (受講要件)	日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科 介護学専攻 4 年生	
修了評価 (習得度、研修成果)	筆記試験 (到達目標の達成度を 50 問程度で確認する。100 点満点中 60 点以上が合格とする。)	
(3) 研修の環境条件		
定員 (講師の配置基準)	40 名 (講師 1 名)	
開催場所 (都道府県)	日本福祉大学 (愛知県)	

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定		
実施日	2024年4月～	
開催場所 (会場)	日本福祉大学	
(2) 講師		
担当、氏名及び略歴	小島 重子 (専門分野: 基礎看護学、臨床看護学) 平成8年3月 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護専攻卒業	
	平成19年3月 藤田保健衛生大学大学院医学研究科(博士課程)予防医学 専攻修了	
	昭和61年4月～平成2年3月 名古屋大学医学部附属病院・看護師	
	平成2年4月～平成6年3月 東芝中部ライフエレクトロニクス株式会社・看護師	
	平成9年10月～平成18年3月 藤田保健衛生大学病院・看護師	
	平成19年4月～平成22年3月 藤田保健衛生大学 医療科学部看護学科・専任職員	
	平成22年4月～平成24年9月 椋山女学園大学 看護学部看護学科・専任職員	
	平成24年10月～平成25年5月 医療法人清須呼吸器疾患研究会豊和病院・看護部長	
	平成26年4月～現在 日本福祉大学 健康科学部リハビリテーション学科介護 学専攻・招聘教員 担当科目: 医療的ケア(経管・吸引)、生活支援技術、リス クマネジメント、介護過程演習、介護総合演習	
	(3) 実施体制	
	研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	健康科学部リハビリテーション学科介護学専攻
研修の企画運営に関する 諸規程	日本福祉大学学則 日本福祉大学健康科学部授業科目履修規程	
研修管理責任者職名	健康科学部長	
研修管理責任者氏名	大場 和久	
機構問合先部署	半田事務室	
機構問合先担当者氏名	西野 加菜美	
機構問合先電話番号/FAX	0569-20-0131/0569-20-0119	
機構問合先 e-mailアドレス	handa@ml.n-fukushi.ac.jp	
受講問合先部署	半田事務室	
受講問合先担当者氏名	西野 加菜美	
受講問合先電話番号/FAX	0569-20-0131/0569-20-119	

受講問合せ先 e-mail アドレス	handa@ml.n-fukushi.ac.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	健康科学部
受講履歴の管理方法	履修システムによる管理（保存期間 10 年以上）
受講履歴の証明	当該研修の修了証の交付
管理責任者氏名	健康科学部長 大場和久
管理担当者氏名	半田事務部長 田邊 雄一郎